



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	まとめ
Author(s)	橋本, 雄一
Relation	産学官セミナー 地理空間情報が拓く未来II = Business-Academia-Government Collaboration Seminar on Developments of Geo-spatial Information and Future World II. 平成22年11月4日(木). 北海道大学学術交流会館, 札幌市.
Issue Date	2010-11-04
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/44142">https://hdl.handle.net/2115/44142</a>
Type	conference presentation
File Information	22_9.pdf



北海道大学サステナビリティ・ウィーク2010 産学官セミナー

# 「地理空間情報が拓く未来 II—自治体GIS—」まとめ

北海道大学大学院文学研究科 橋本 雄一

---

## 【基調講演】

### 「自治体における地理空間情報の利活用と将来展望」

地理情報システム学会 自治体分科会会長・市川市市民経済部商工振興課 大場 亨氏

## 【講演】

### 「北海道における治水GISについて」

北海道建設部土木局河川課 維持整備グループ 石黒元昭氏

### 「札幌市における地理情報データの利活用について」

札幌市情報化推進部IT推進課 平塚泰章氏

### 「岩見沢市におけるICT施策と自治体GISの利活用について」

岩見沢市経済部企業立地情報化推進室 澤田和幸氏

### 「北海道における自治体GISの現状分析と将来展望」

北海道GIS・GPS研究会 藤原達也氏・(株)ヒューネス 赤渕明寛氏

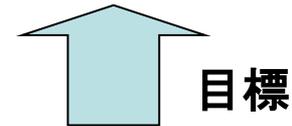
### 「自治体GISの発展過程分析と今後の展開」

小樽商科大学社会情報学科 深田秀実氏

# 地理空間情報と「持続可能な社会」



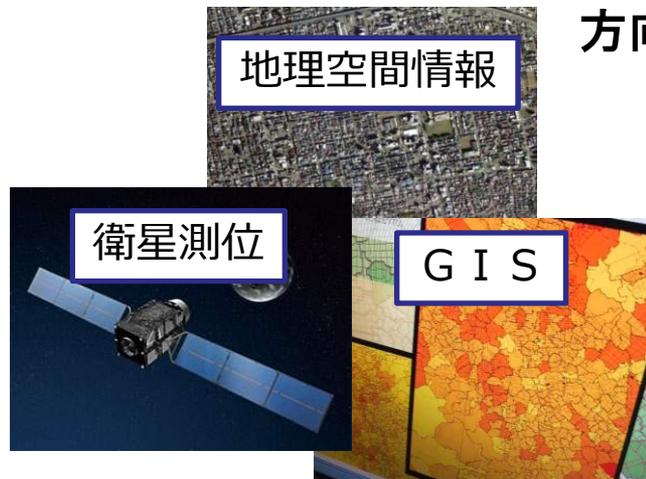
持続可能な社会



ユビキタス社会

ツールとしての期待

目指すべき  
方向性



- 地理空間情報高度活用社会
- (1) 国土の利用、整備及び保全の推進等
  - (2) 行政の効率化・高度化
  - (3) 国民生活の安全・安心と利便性の向上
  - (4) 新たな産業・サービスの創出と発展

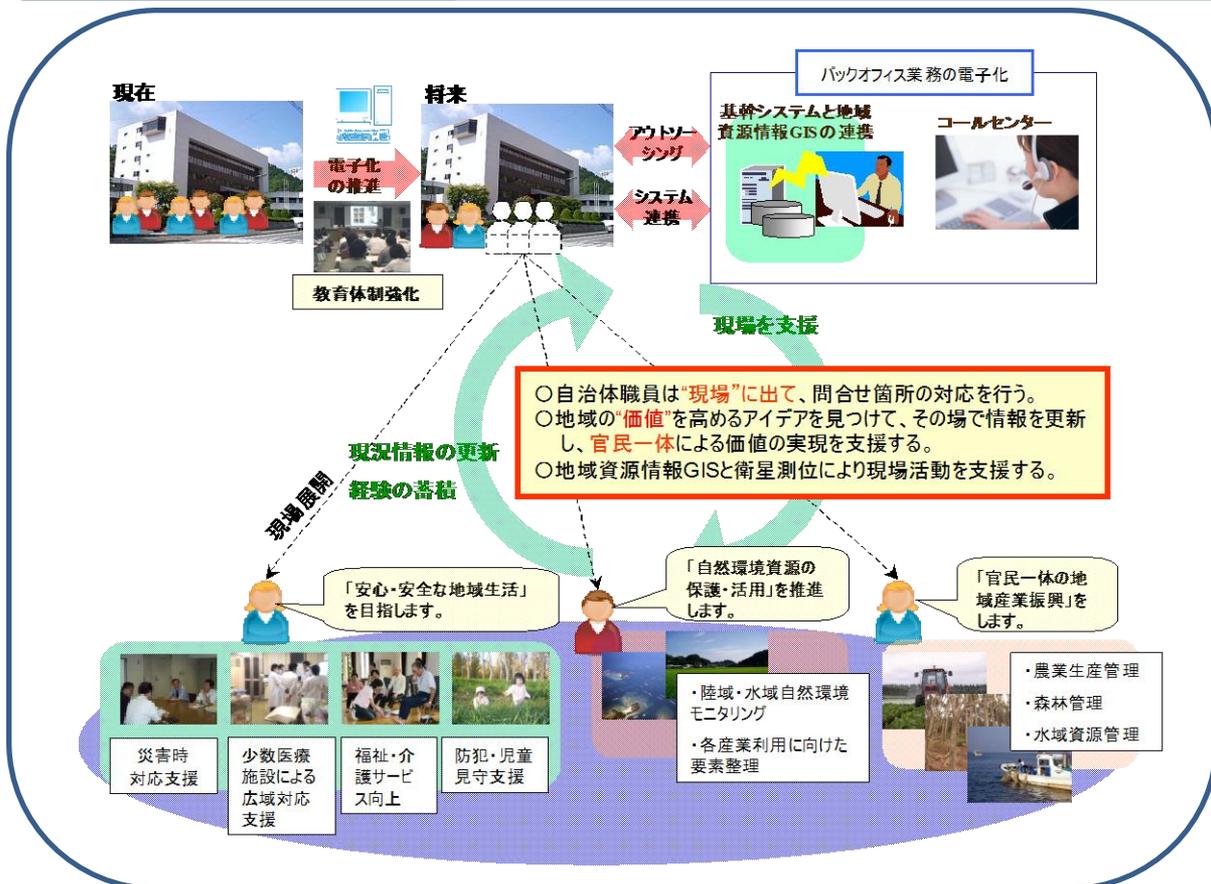
現実世界の活動は、ある場所（地理空間）で行われるものであり、そこに潜む問題の解決には、場所に関する情報基盤が必須となる。

2007年 地理空間情報活用推進基本法  
2008年 地理空間情報活用推進基本計画

# 先導的利活用技術とモデルの開発：リアルタイム測位・GISと次世代電子自治体

## 次世代電子自治体

## 現場改善力・地域営業力向上のための次世代電子自治体



## 目標

- ◆自治体バックオフィス業務の効率化・低コスト化
- ◆地域資源GISによる現場に密着した住民サービスの向上
- ◆官民一体となった新たな地域価値の創出

## 特徴と開発要素

- ◆電子自治体システムの充実によりバックオフィス業務の効率化を図る一方で、地域資源GISとリアルタイム測位を用いて現場での住民サービス力を向上させる点に大きな意義・特徴
- ◆地域資源DB構築・維持技術
- ◆自治体業務のBPRとアウトソーシングガイドライン作成
- ◆現場重視の自治体職員の適正配置と教育の充実

柴崎亮介, 橋本雄一, 寺前秀一, 江崎哲郎, 名嘉村盛和  
「地理空間情報の利活用推進に係る研究開発(R&D)事業の提案」  
(自民党合同部会資料)より抜粋。

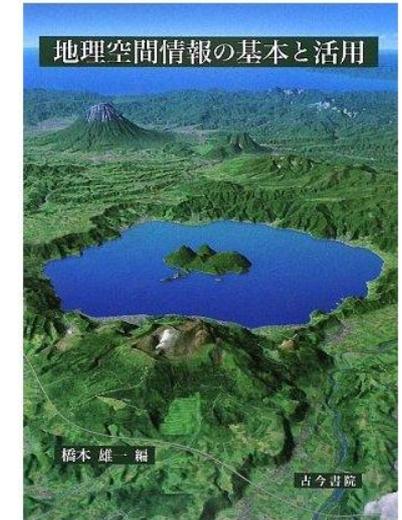
関係省庁: 総務省、国交省、  
農水省、厚労省、  
経産省

# 全国の自治体で利用されている地理空間情報・GIS

## 北海道石狩市のWeb-GIS



## 北海道八雲町の統合型GIS



橋本雄一編『地理空間情報の基本と活用』(古今書院)第11章(資料:株式会社ヒューネス)

## 福島県相馬市の地図基盤GIS



人口規模20万人以下の  
地方自治体（地方公共  
団体）が対象

全庁利用 定額制  
QAサポート

資料: ESRIジャパン株式会社

## 北海道洞爺湖町のGISによる災害復興



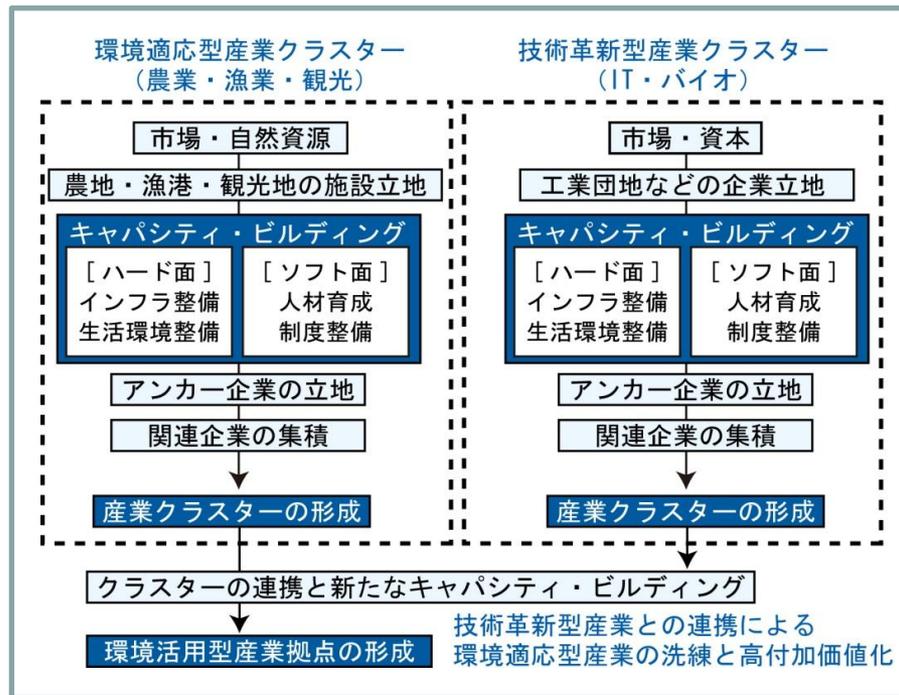
橋本雄一編『地理空間情報の基本と活用』(古今書院)第10章  
(資料:株式会社シン技術コンサル)

# Next Year

## サステナビリティ・ウィーク2011

### 地理空間情報が拓く未来Ⅲ－食と観光のGIS－（案）

農業・漁業・観光などを対象に、GISを用いた地域資源の高度活用を扱いたいと思います。



- 気候 (Climate)
  - 環境変動 (Environmental Change)
- 知的革命 (Knowledge Revolution)
  - 技術革新 (Technological Innovation)
  - 社会変革 (Social Change)
- 自然史 (Natural History)
  - 生物多様性 (Biodiversity)
  - 自然保護 (Natural Conservation)
- 食糧 (Food)
  - 水・衛生 (Water & Hygiene)
  - 健康 (Health)
- 教育 (Education)
  - 人材育成 (Human Resource Development)
  - 啓発 (Public Awareness)
- 人権 (Human Rights)
  - 文化 (Culture)
  - 平和 (Peace)

国土地理院 北海道地方測量部・社団法人 日本測量協会 北海道支部 主催

# 第8回北海道測量技術講演会

副題： 地理空間情報高度活用社会構築のための新たな測位システム

日時・会場： 平成23年1月27日(木)13:00～16:30・札幌第1合同庁舎講堂

講演： 北海道開発局, 北海道, 札幌市, 「測量の日」北海道推進協議会,  
地理情報システム学会北海道支部, 北海道GIS・GPS研究会,  
NPO法人Digital北海道研究会

演題： 「測位システムを農業経営に活かす」(仮称)  
仁平尊明(北海道大学大学院文学研究科 准教授)

「測位システムを道路施設管理に活かす」(仮称)  
深田秀美(小樽商科大学商学部社会情報学科 准教授)

「地理空間情報活用のための新たな位置情報基盤」(仮称)  
高橋保博(国土地理院測地部 測地技術調整官)

「準天頂衛星『みちびき』による高精度測位補正技術」(仮称)  
矢来博司(国土地理院測地観測センター 地震調査官)



北海道大学サステナビリティ・ウィーク2010 産学官セミナー

## 「地理空間情報が拓く未来 II—自治体GIS—」

本日はご参加いただき、ありがとうございました。

### 【主 催】

北海道大学大学院文学研究科 地理情報システム学会北海道支部  
北海道GIS・GPS研究会 NPO法人Digital北海道研究会

### 【後 援】

国土地理院北海道地方測量部 北海道 札幌市

まとめ： 橋本 雄一（北海道大学大学院文学研究科）

【日 時】 2010年11月4日（木）13時～17時

【場 所】 北海道大学 学術交流会館2階 大講堂（札幌市北区北8条西5丁目）